

首相「磯崎氏を続投」

法的安定性問題 野党は更迭要求

安倍晋三首相は四日の参院平和安全法制特別委員会で、安全保障関連法案をめ

ぐり法の規定や解釈がみだりに変わらぬ「法的安定性」を重視したとも受け取れる発言をした。磯崎陽輔首相補佐官の続投を明言した。「今後ともしっかりと自らを引き締め、職務を遂行してもらいたい」と述べた。野党は更迭要求を続け、首相の任命責任も追及した。民主党の郡司彰参院議員会長は記者会見で「内閣の体質の一部が出た」と政権を批判した。問題は収束しそげない。●論戦の

焦点◎面

首相は特別委で、三日の参考人招致に触れ「磯崎氏は自らの発言を取り消した。法的安定性は極めて重要であり、磯崎氏も十分に認識している」と擁護した。同時に「磯崎氏自身が説明、おわびし、私からも注意した」と述べ、十分に対応したとの認識を示した。

民主党の小川勝也氏は「首相が補佐官として使い続けるなら、安倍内閣が法的安定性を軽視している」と

受け取らざるを得ない」と指摘し、引き続き質疑で取り上げる方針を表明した。

首相は「政府は法的安定性を重視している。一九七二年見解の基本的論理を踏襲する中で（結論部分の）当てはめを変えたと説明してきた」と理解を求めた。磯崎氏について「今後は誤解を受ける発言をしない」とは当然だ」と言及した。